

夕刊續報 因島争議の幹部杉原善代美、金政米吉、杉原静馬、近藤武一田中長作等は取調の結果二十日までに起訴され同日尾道支所に送致された尚争議未援中であつた大阪方面の労働団体代表等八名及び争議因幹部十数名を引續き引致取調中であるが全部起訴される模様で工場側から甚予場長、山崎主任も因島分署に喚問中である同署は二十日午後に至り異常に緊張し係官は多大忙を極めて来る争議因では幹部の全滅に大恐慌を来して右の犯罪は暴行脅迫あるものらしい。

六月二十三日 大阪朝日新聞記事

愈解決迫る新しい仲裁者出づ因島の争議

争議に對し國粹會員森之郎、職長柳畑両氏は調停の見込みなく一旦手を引いたがこのまゝでは双方に不利益は勿論長びくだけ悪化することを憂ひ二十日來島した大阪大政官組の栗村氏とともに協議の上更に調停を思ひ出さ廿一日前土時頃から検査中の杉原、金政氏等と警察署で面會を求めたが金政氏は自分が居なくては解決はつくだろうかと頗る落ちつてゐるやうだが兎に角解決は二兩日に迫り來たらしい。

六月二十三日 大阪毎日新聞記事

因島の争議遂に解決す調停者の好意に一任

廿三日から就業

大阪鉄工所因島工場及び三庄工場の労働争議は既報の如く調停者が出でて職工の態度も漸く軟化し廿一日午後工場所屬城山俱樂部において調停者と職工側の解雇者の代表及び残留者の代表等が最後の協調をなし同日午後一時に至り職工が提出した日給一割乃至一割五分増額のことその他總ての要求條件を留保して工場長に一任することに決定その旨工場長に通達した而して調停の内容については會社が豫め認めてゐた